

関連データ集

(資料5の補足資料)

目次

子どもや子育て家庭に関するデータ

<u>子どもの自己肯定感</u>	…	1
<u>保護者が子どもの話を聞くこと</u>	…	2
<u>児童虐待相談対応件数</u>	…	3
<u>不登校児童(長期欠席児童)</u>	…	4
<u>結婚に対する考え方</u>	…	5
<u>希望する子どもの数</u>	…	6
<u>悩みや不安を感じている人</u>	…	7
<u>女性が職業を持つことの方</u>	…	8
妊娠、出産における妊産婦との関わり	…	9
在園児の状況	…	10
就学前児童の就園状況	…	11
休日保育及び夜間保育の利用者数	…	12
病児保育の利用者数	…	13
いじめ解消率	…	14
子ども医療費の助成状況	…	15
ひとり親家庭の状況	…	16
放課後児童クラブの登録児童数	…	17
子ども食堂の開催状況	…	18
里親等への委託及び児童養護施設の入所児童数	…	19
子どもの自殺者数	…	20
療育手帳所持者の状況	…	21

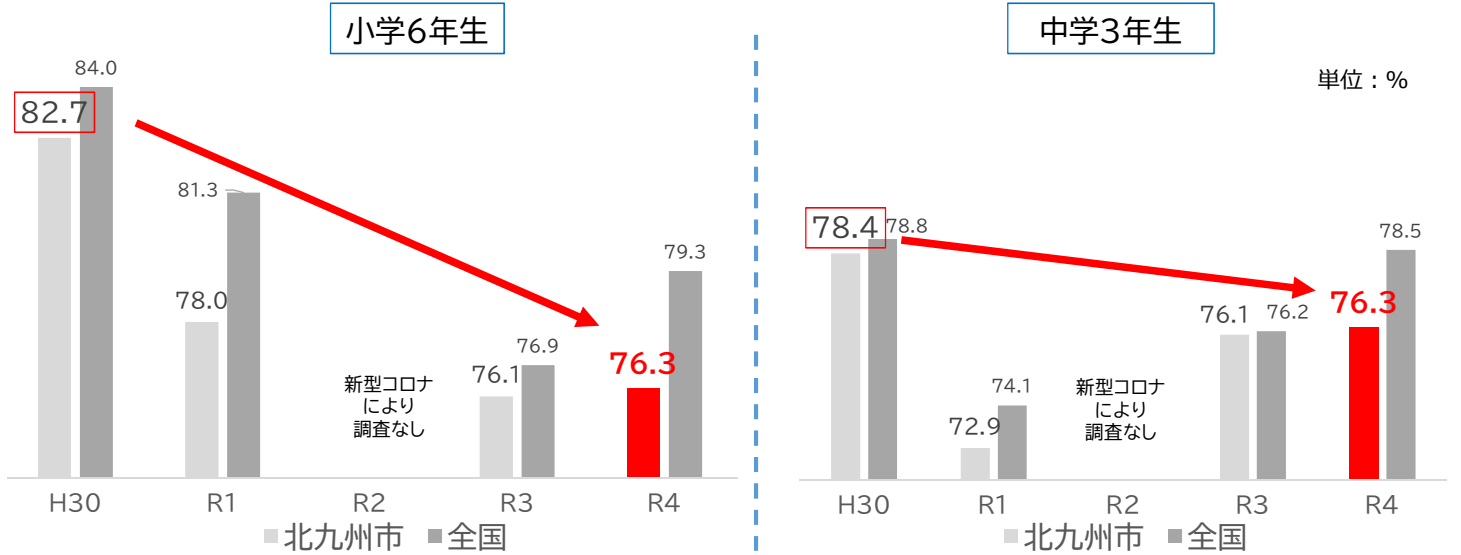
人口や就業に関するデータ

<u>人口と年齢割合</u>	…	22
<u>出生数と出生率</u>	…	23
<u>婚姻数と婚姻率</u>	…	24
<u>合計特殊出生率</u>	…	25
<u>年齢階級別労働力率</u>	…	26
<u>女性の年代別人口構成比</u>	…	27
北九州市の就業者の状況	…	28
中学校卒業後の進路状況	…	29
高等学校卒業後の進路状況	…	30

※ 資料5(北九州市の現状)で記載したデータには下線を引いています。

子どもの自己肯定感

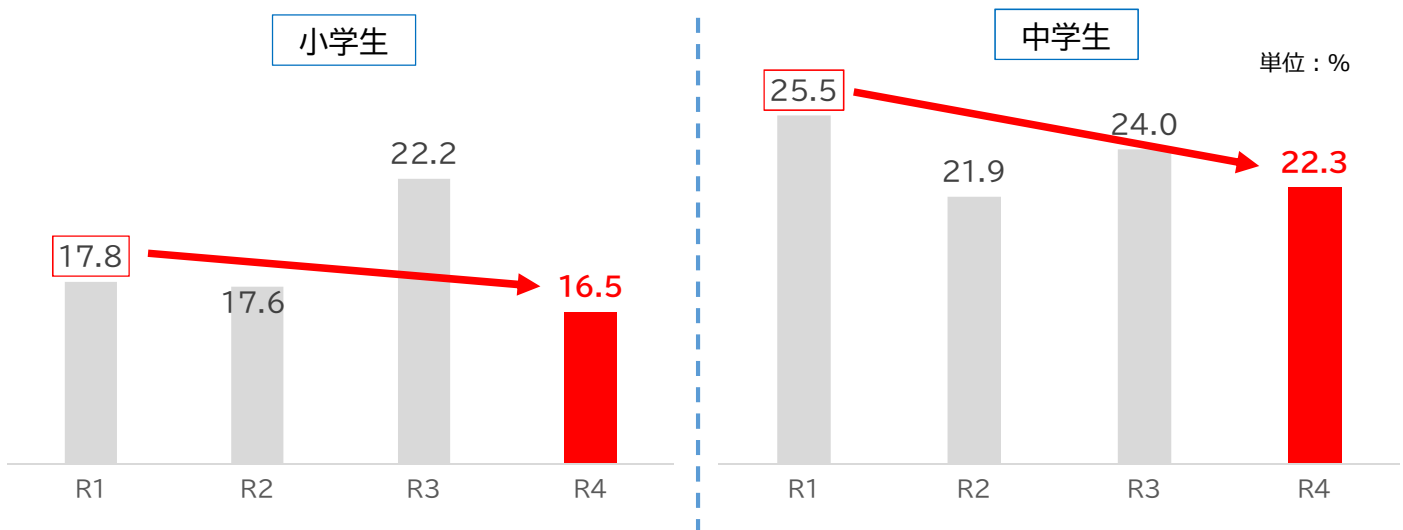
- ・「自分には良いところがあるか」の質問に、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合。
- ・北九州市は、全国平均と同じ傾向で増減をしているが、総じて全国平均よりも低い。



出典:文部科学省「全国学力・学習状況調査」

保護者が子どもの話を聞くこと

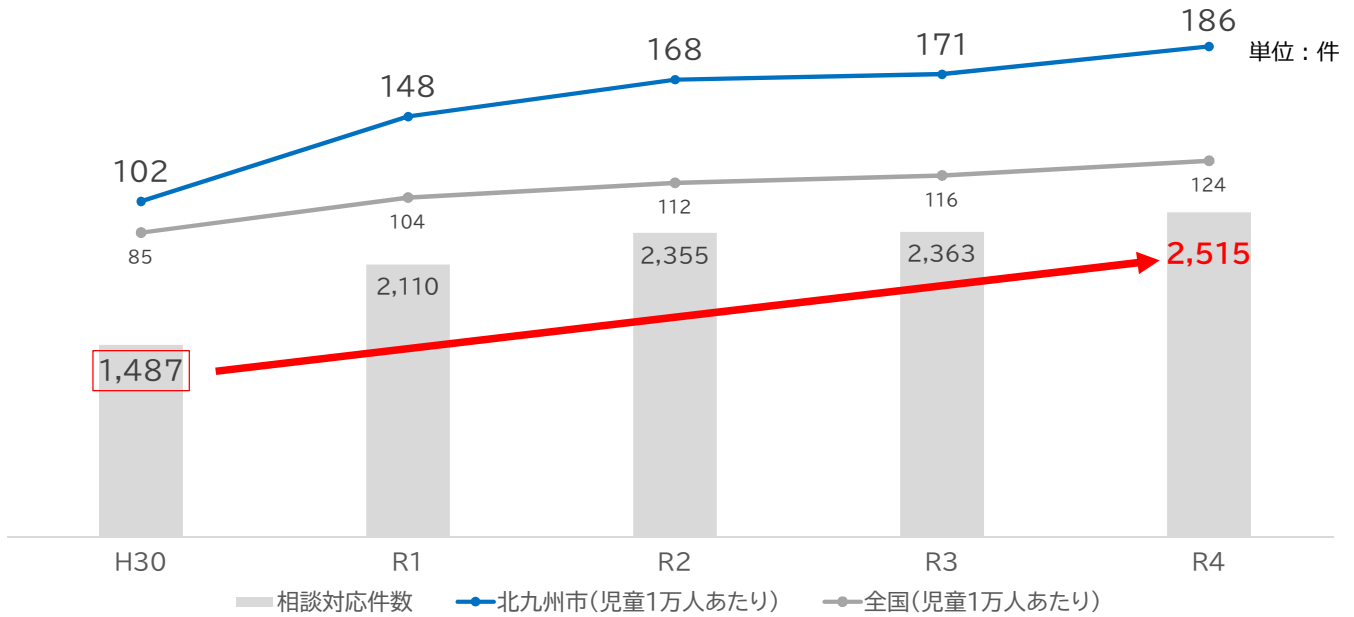
- ・保護者に対して、「あなたは子どもの話が聞けていると思いますか」の質問に、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合。
- ・R3に一時的に上昇したが、調査開始時との比較では減少している。



出典:子ども家庭局「子どもプラン点検・評価に関するアンケート」

児童虐待相談対応件数

- ・児童虐待相談対応件数は、北九州市の児童相談所(子ども総合センター)において、各所からの相談に対応した件数。全国との比較のため、児童1万人あたりの件数を記載。
- ・相談対応件数は年々増加しており、児童1万人あたりの件数は、全国平均を上回っている。

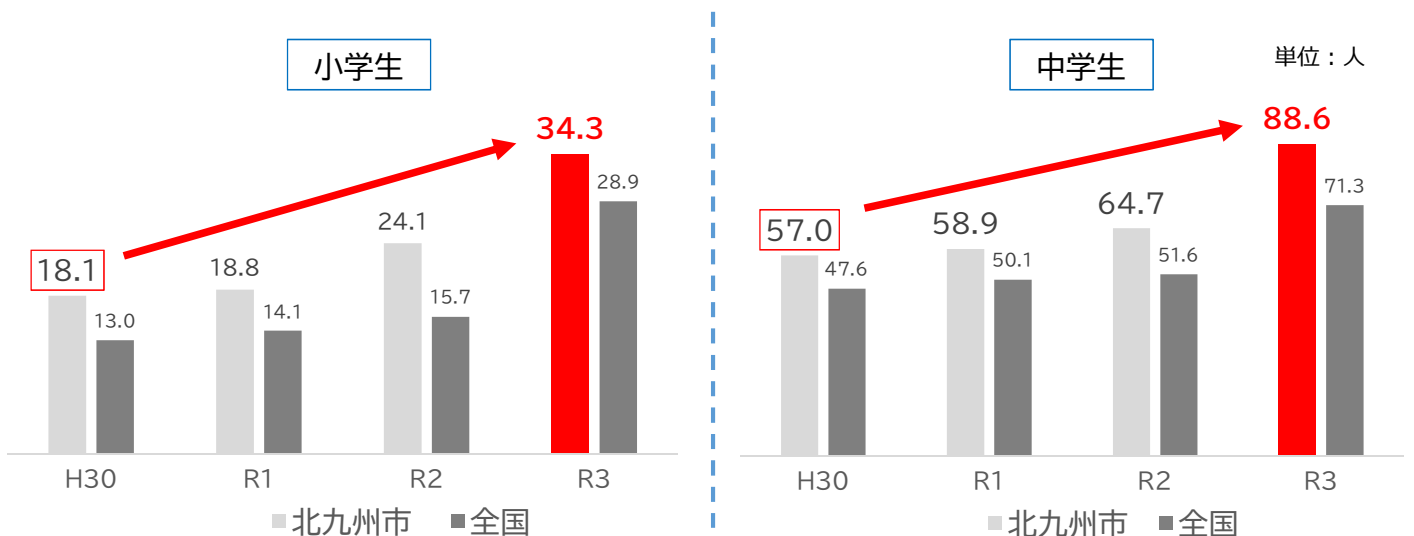


出典:子ども家庭局「子どもプラン点検・評価に関するアンケート」

3

不登校児童(長期欠席児童)

- ・長期欠席児童とは、「欠席の日数」及び「出席停止・忌引き等」の日数の合計で30日以上登校しなかったもので、「新型コロナウイルスの感染回避」のために欠席したことを除外したもの。
- ・全国との比較のため、児童千人あたりの児童数を記載。
- ・小学生、中学生ともに年々増加しており、全国平均を上回っている。

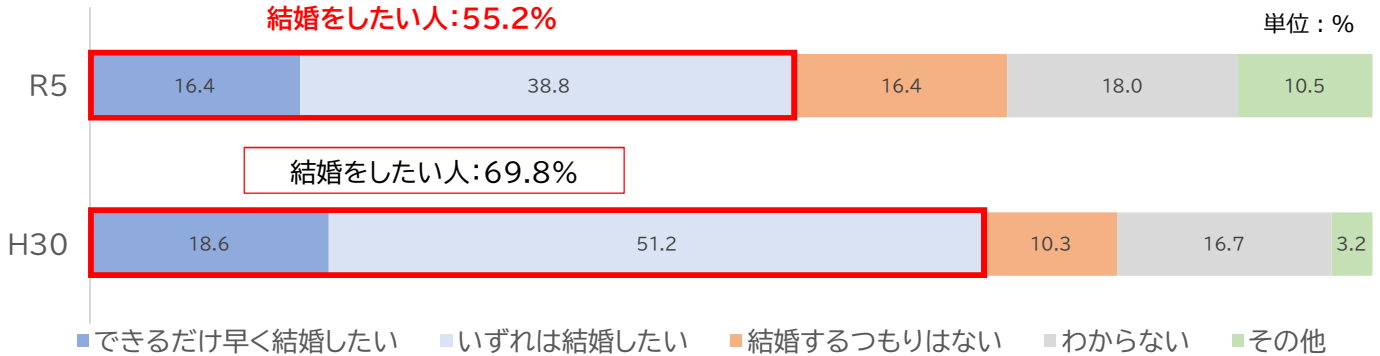


出典:子ども家庭局「子どもプラン点検・評価に関するアンケート」

4

結婚に対する考え方

- ・「結婚についての考え方について伺います」の質問に、「できるだけ早く結婚したい」「いずれは結婚したい」と答えた割合。
- ・結婚をしたいと思う人の割合は減少し、「結婚するつもりはない」「わからない」と答えた割合が増加した。
- ・結婚をしていない理由として、結婚したい人に出会っていないことや、自分の生活を大事にしたいが上位。



【結婚をしていない理由】

H30 1位: 結婚したい人に巡り合っていない
2位: 異性と出会う場や交際の機会がない
3位: 趣味や娯楽を楽しみたい

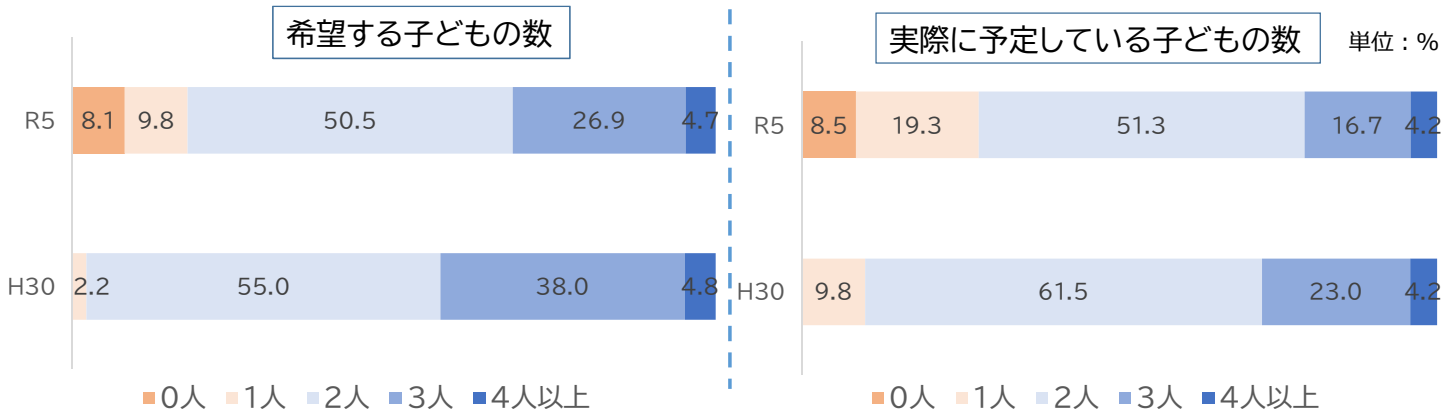
R5 1位: 結婚したい人に巡り合っていない
2位: 自由な生活と気楽さを失いたくない
3位: 趣味や娯楽を楽しみたい

出典: 子ども家庭局「子ども・子育て支援に関する市民アンケート」

5

希望する子どもの数

- ・「希望する子どもの数」と「実際に予定している子どもの数」を人数で答えてもらう質問の割合。
- ・ともに複数の子どもを持ちたいと思う割合は減少している。
- ・乖離する理由として、子育てにお金がかかることや、子育てに負担が大きいことが上位。



【希望する数と実際に予定している数の乖離する理由】

H30 1位: 子育てにお金がかかるから
2位: 育児の負担が大きいから
3位: 年齢上の理由から

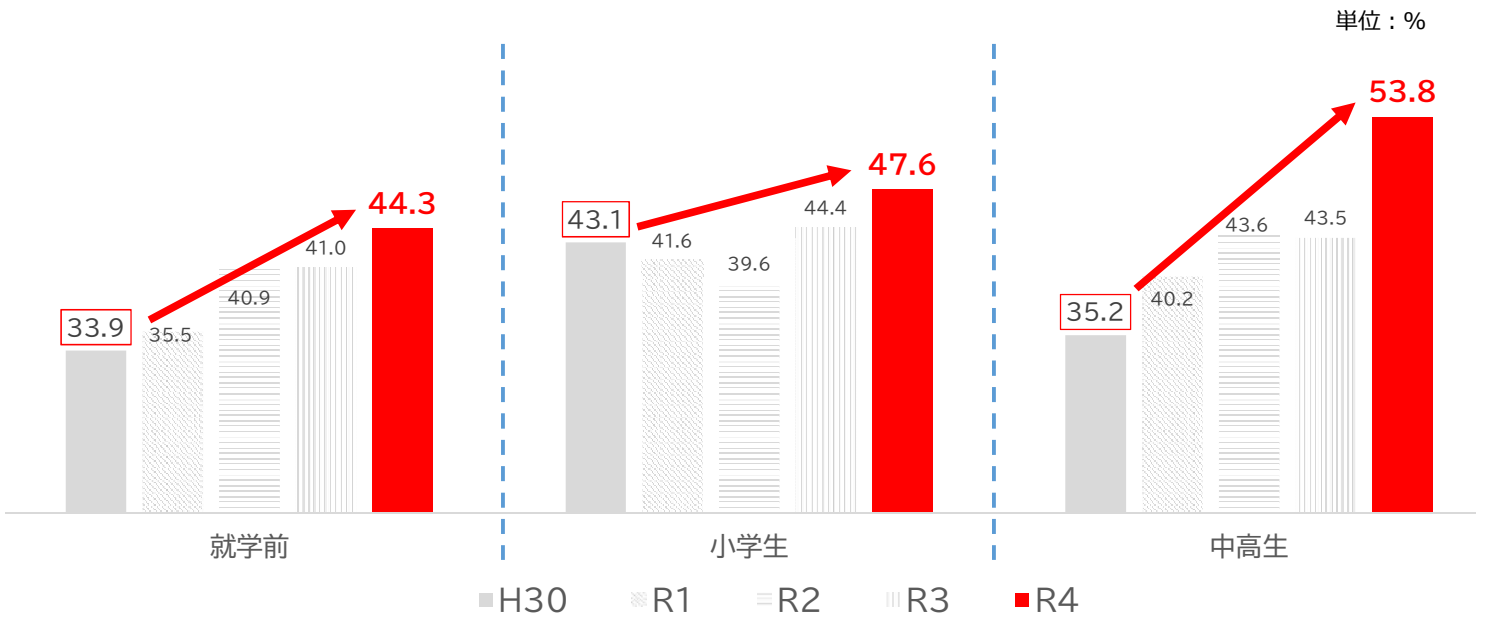
R5 1位: 子育てにお金がかかるから
2位: 子育ての身体的な負担が大きいから
3位: 子育ての精神的な負担が大きいから

出典: 子ども家庭局「子ども・子育て支援に関する市民アンケート」

6

悩みや不安を感じている人

- ・保護者に対して「子育てについて悩みや不安を感じていますか」の質問に、「とても感じている」「どちらかといえば感じている」と答えた割合。
- ・全ての年代の保護者が、悩みや不安を感じる割合が高くなっている。

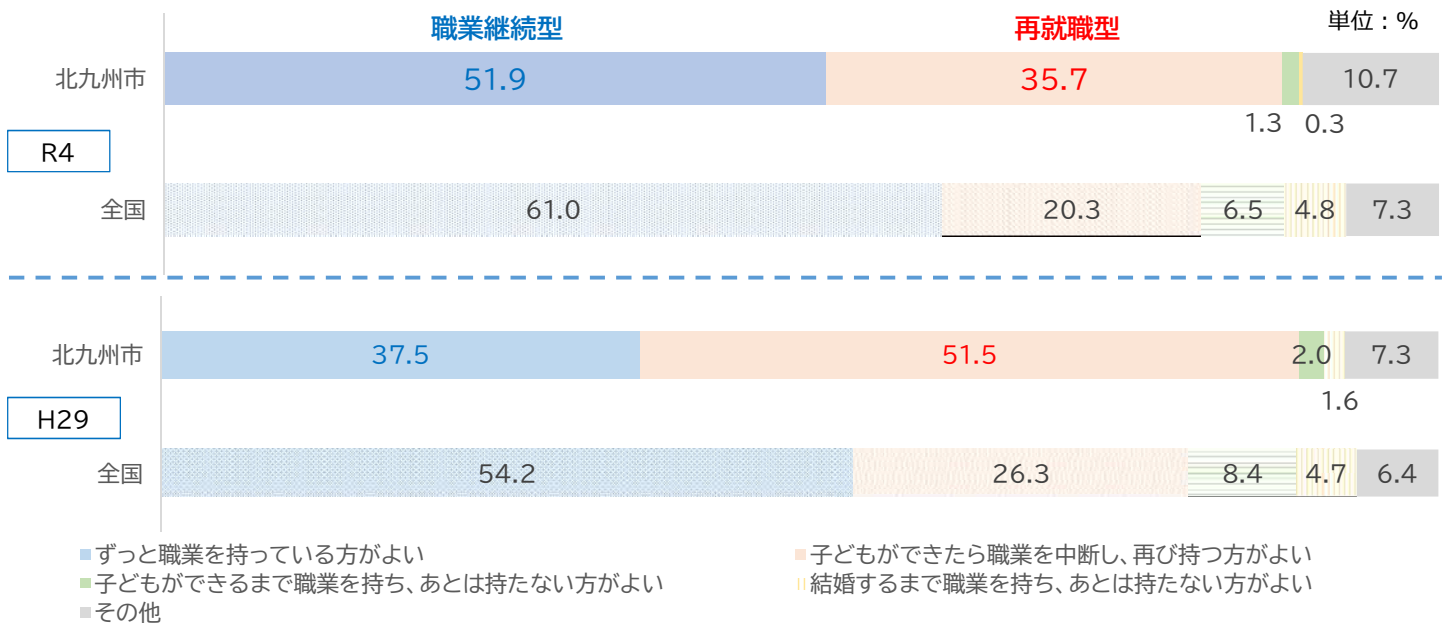


出典：子ども家庭局「子どもプラン点検・評価に関するアンケート」

7

女性が職業を持つことの方

- ・「女性が職業を持つことについてどれが最も望ましいと思いますか」の質問に答えた割合。
- ・北九州市は、職業を継続して持ちたいと思う割合は、H29調査時より増加しているが、全国平均より低く、子どもができれば仕事を中断し、再就職を希望する割合が高い。



- ずっと職業を持っている方がよい
- 子どもができるまで職業を持ち、あとは持たない方がよい
- その他

- 子どもができれば仕事を中断し、再び持つ方がよい
- 結婚するまで職業を持ち、あとは持たない方がよい

出典：総務局「北九州市男女共同参画社会に関する調査」

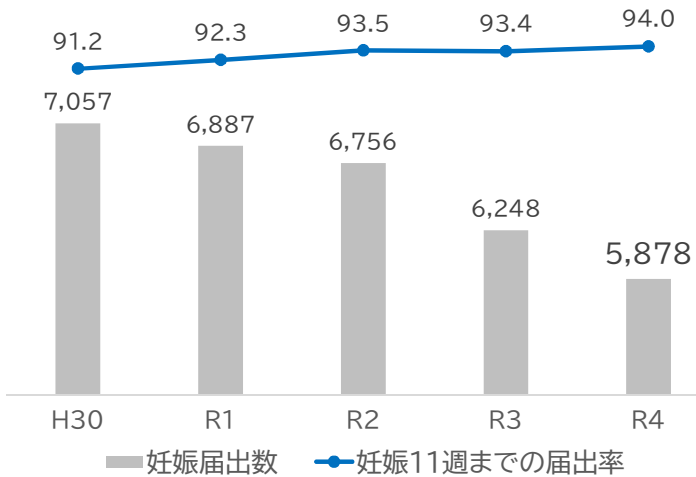
8

妊娠、出産における妊産婦との関わり

- ・妊娠届出の際は保健師と面談を実施。件数は減少しているが、妊娠11週までに届出をする割合は増加。
- ・4カ月までの乳児がいる家庭を訪問し、乳児の健康状態等の相談対応や、子育て支援に関する情報提供を実施。出生数が減少しているため訪問件数は減少しているが、概ね全ての家庭訪問を行っている。

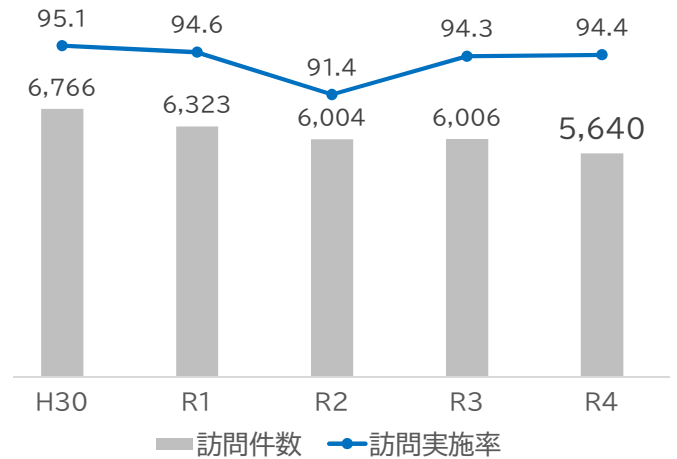
妊娠届出の状況

単位：件、%



出産後訪問指導の状況

単位：件、%



出典：子ども家庭局実績

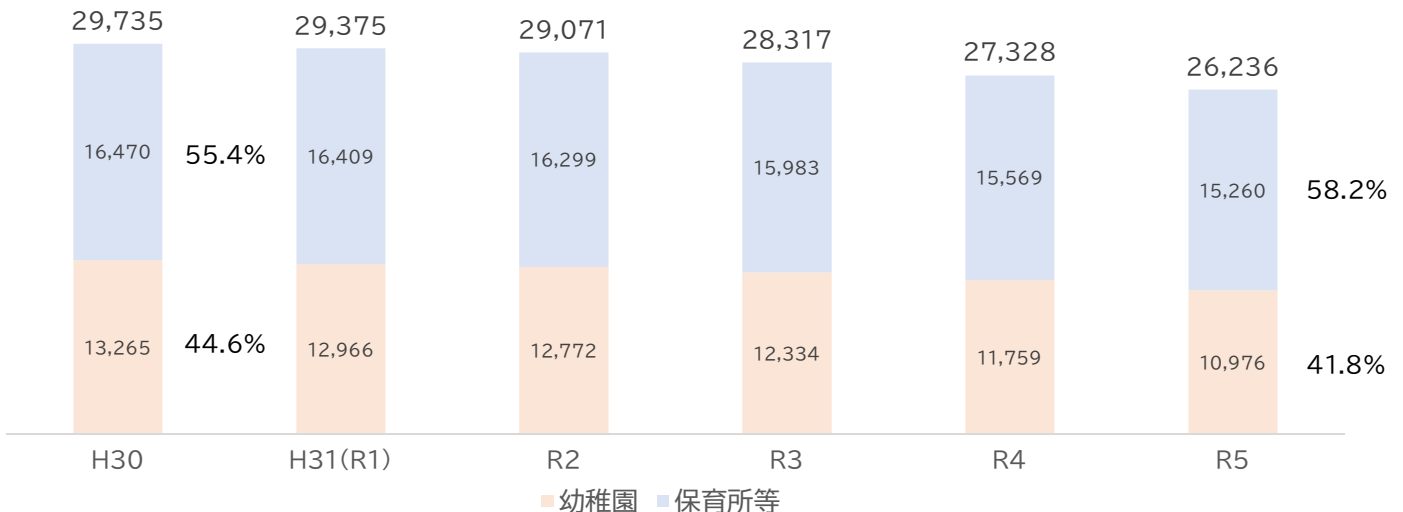
在園児の状況

- ・幼稚園や保育所等に通う児童数は、年々減少している。
- ・近年の構成比は、保育所等に通う児童の割合が増加している。

単位：人

構成比

構成比



※幼稚園には幼稚園型認定こども園を含む。
保育所等には保育所型認定こども園を含む

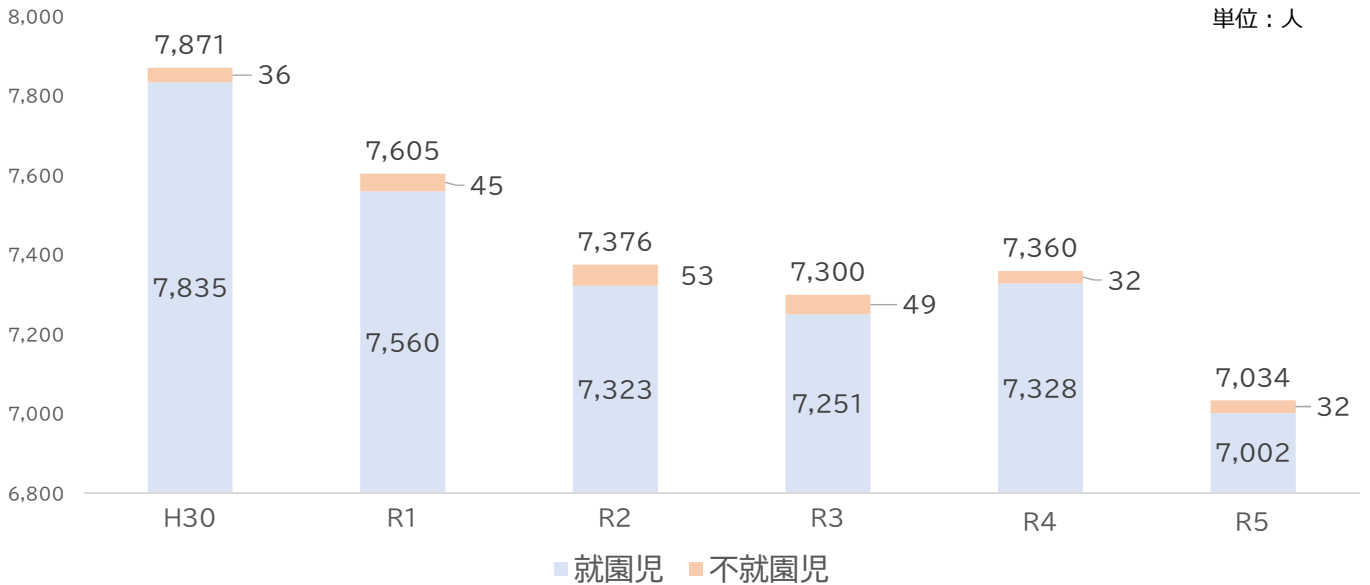
※幼稚園は満3歳児を含む
保育所等は0歳児を含む

出典：子ども家庭局実績

基準日：幼稚園 各年5月1日
保育所等 各年4月1日

就学前児童の就園状況

- ・市立小学校第1学年児童の就学前教育の状況を調査した結果。
- ・幼稚園や保育所等へ就園している子どもが大多数ではあるが、一定数の不就園児童がいる。

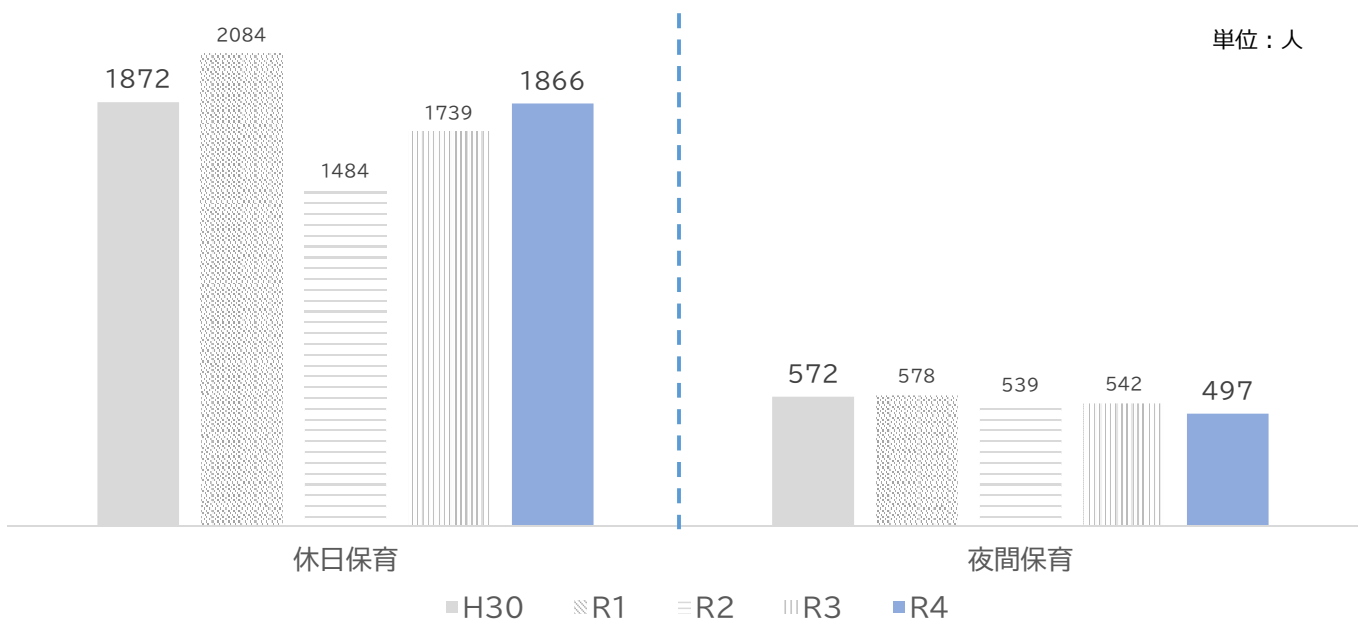


出典：北九州市教育委員会「教育要覧」
基準日：各年5月1日

11

休日保育及び夜間保育の利用者数

- ・休日保育(日曜・祝日に就業する保護者支援のため保育所を開所)は、H30頃と同程度利用されている。
- ・夜間保育(最大午前7時から午前0時まで利用できる夜間の保育事業)については、減少傾向となっている。

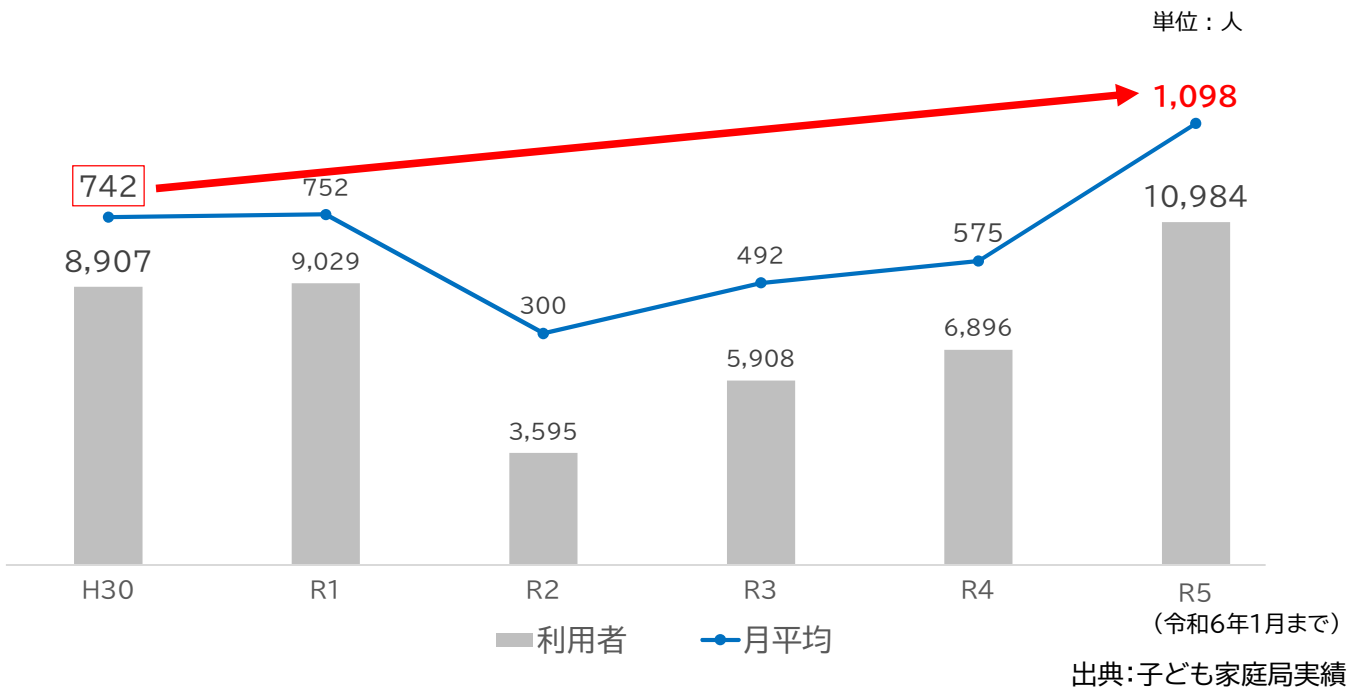


出典：子ども家庭局実績

12

病児保育の利用者数

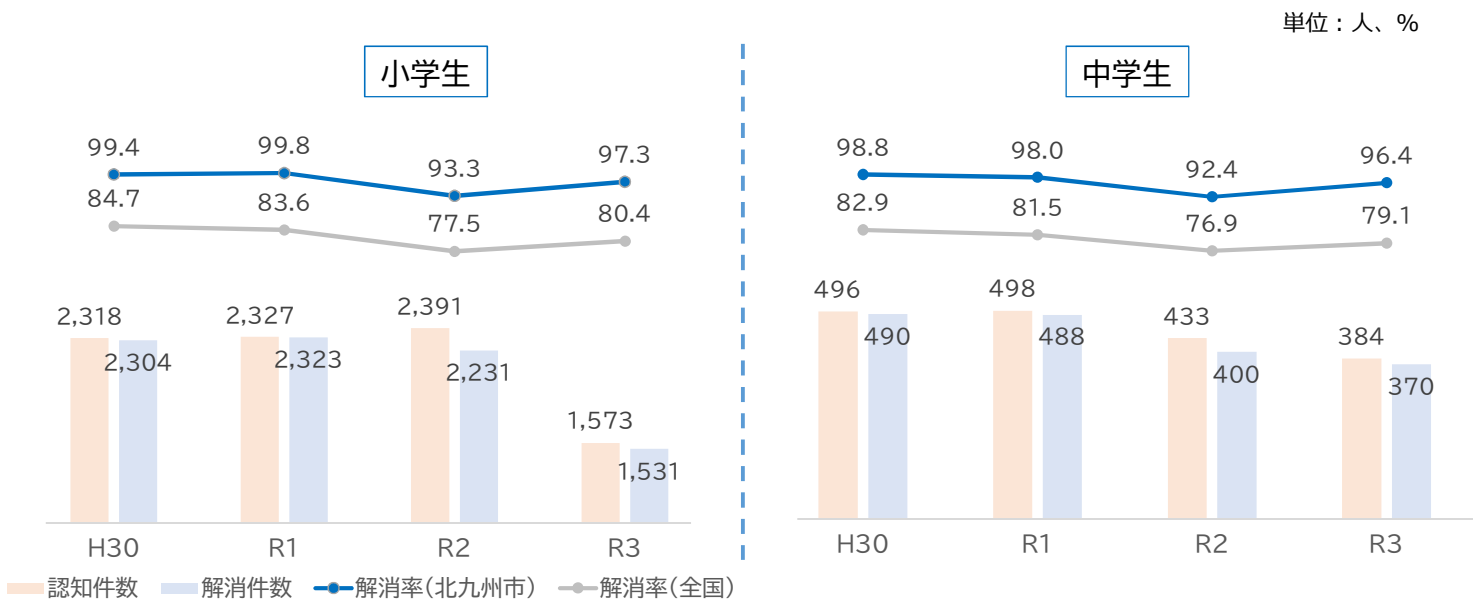
- ・病児保育の利用者は一時的に減少したが、令和5年度に大きく増加している。
- ・令和5年4月より利用料無償化を実施。



13

いじめ解消率

- ・いじめの件数は、小学生・中学生ともに減少している。
- ・いじめの解消率は、小学生・中学生ともに、全国平均よりも高い。

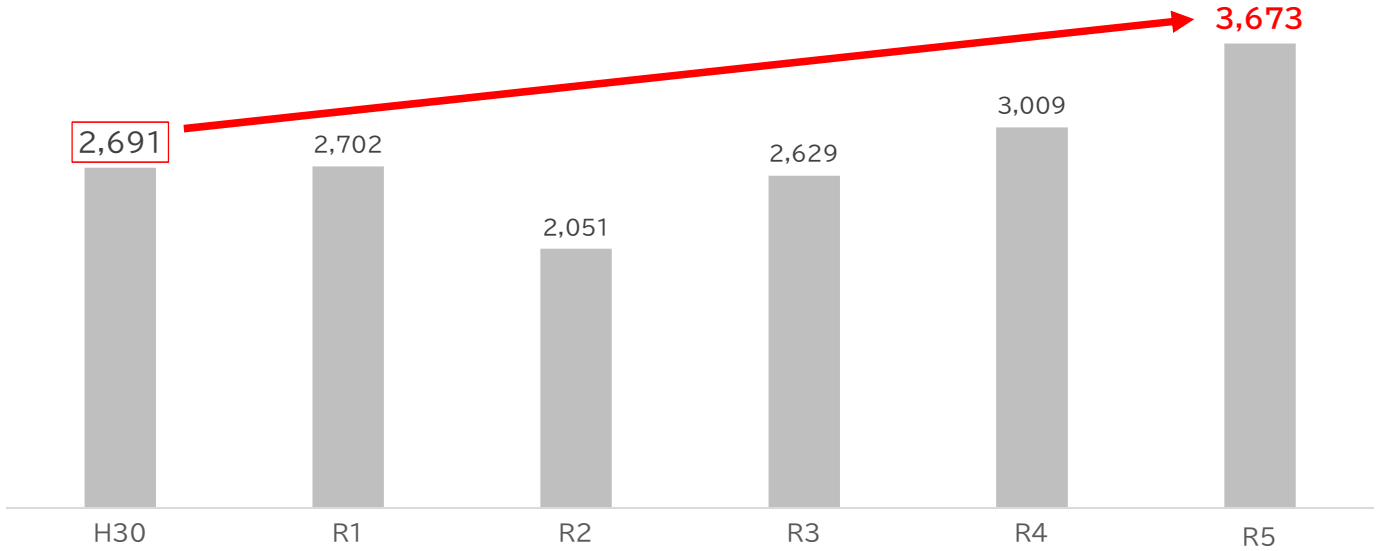


14

子ども医療費の助成状況

- ・子どもの医療費助成は、通院費は年齢区分により一部負担はあるが、入院費は全額助成を実施している。
- ・特に、令和5年度は、新型コロナの5類感染症移行やインフルエンザ等の流行もあり、大きく増加の見込み。

単位：百万円



※R3.4より、中学生の通院費の助成開始
 R4.1より、高校生の入通院費の助成開始
 ※H30～R4は決算額、R5は予算額で記載

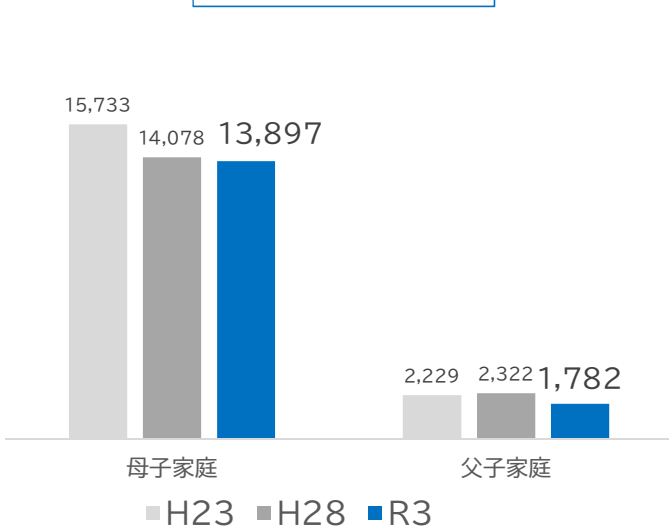
出典：子ども家庭局実績

ひとり親家庭の状況

- ・ひとり親家庭の世帯数は、母子家庭・父子家庭ともに減少している。
- ・ひとり親家庭の平均年収は増加しているが、一般家庭と比べると、まだ低い状況となっている。

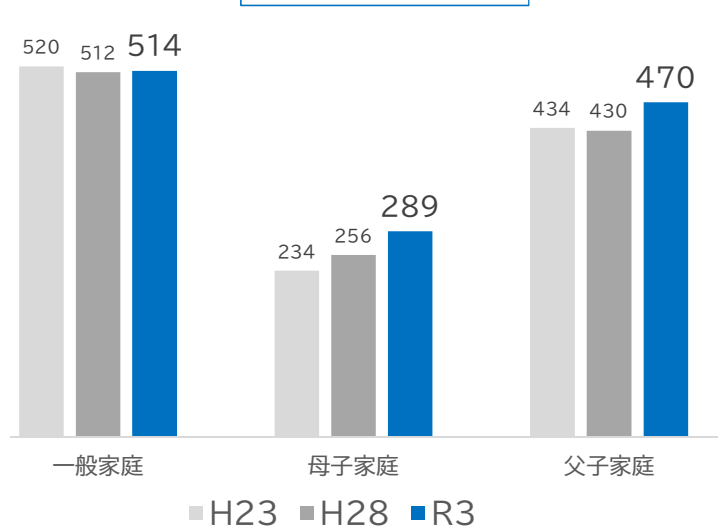
ひとり親家庭世帯数

単位：世帯



各家庭の平均年収

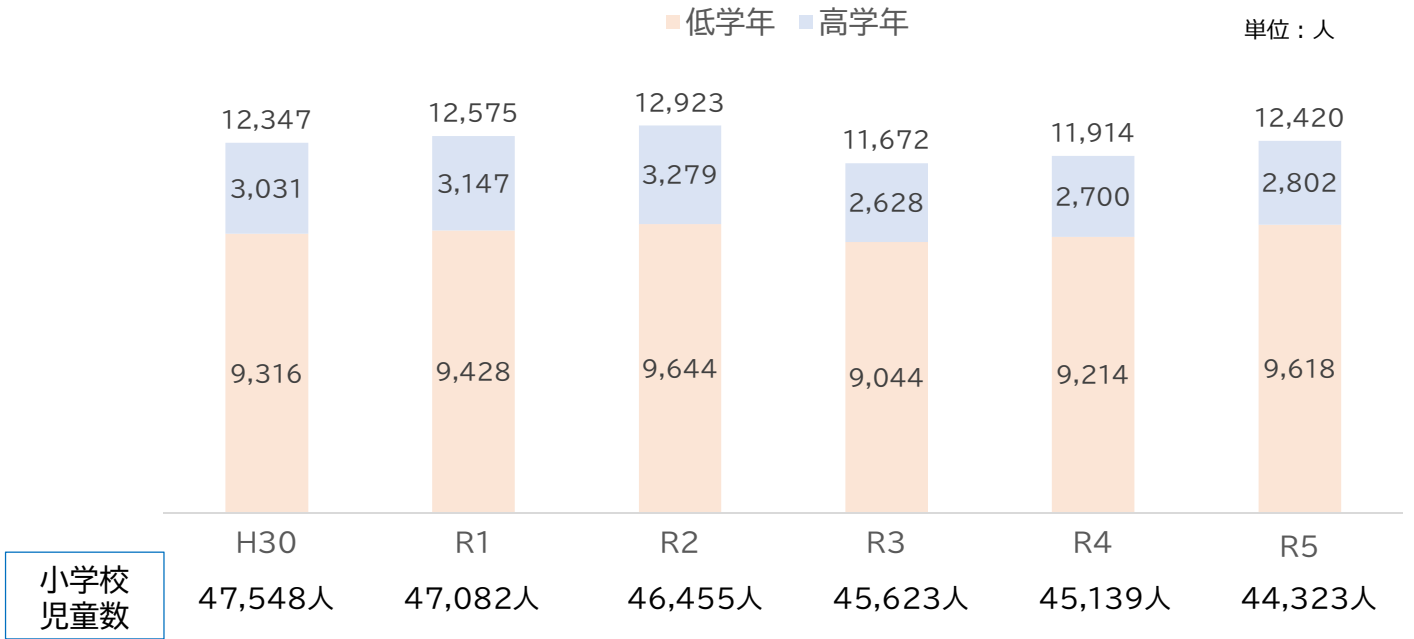
単位：万円



出典：北九州市ひとり親家庭等実態調査
 総務省「家計調査」

放課後児童クラブの登録児童数

- ・放課後児童クラブは、希望する全学年児童の受入を実施。登録する児童数は、H30頃と同程度。
- ・市立小学校の児童数が年々減少している中でも、放課後児童クラブに登録する児童数は減少していない。

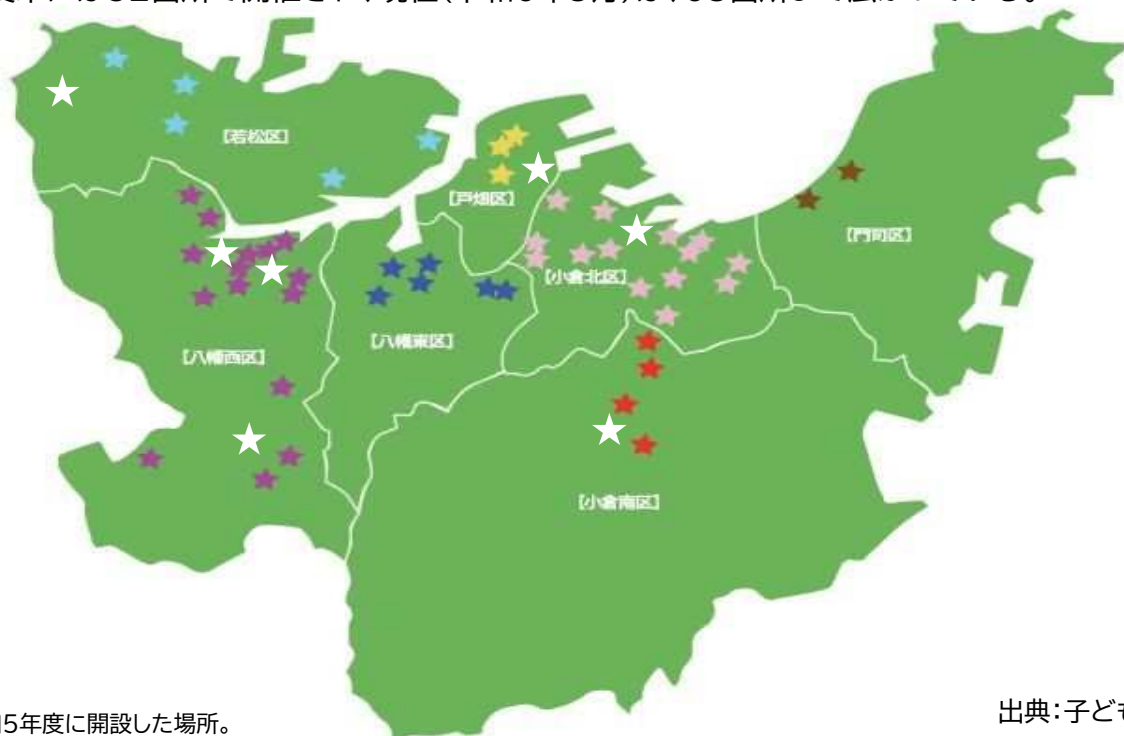


出典：子ども家庭局実績、文部科学省「学校基本調査」

基準日：登録児童数 各年4月1日、小学校児童数 各年5月1日 17

子ども食堂の開催状況

- ・子ども食堂は、孤食の防止や子どもと大人が安心して過ごす居場所として、地域や民間が主体となって運営。
- ・令和4年度末には52箇所で開催され、現在(令和6年3月)は、63箇所まで広がっている。



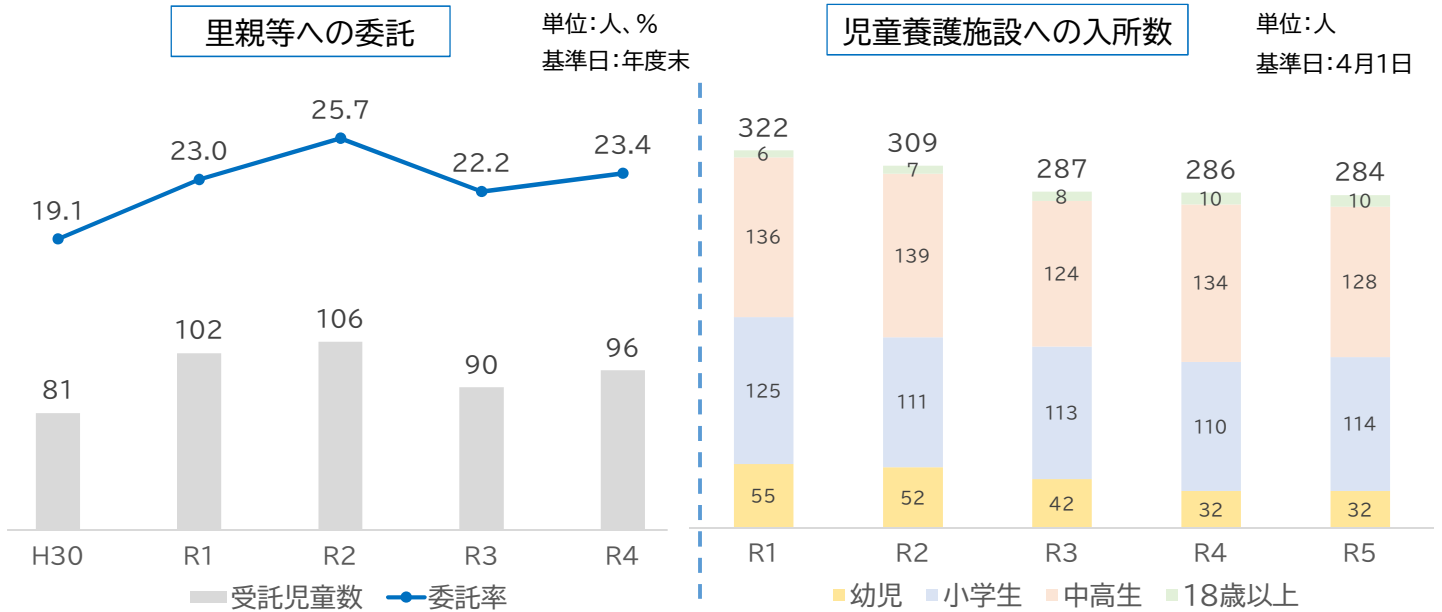
※☆は令和5年度に開設した場所。

※地域により重複しているため☆の数と開催数は一致しない。

出典：子ども家庭局実績

里親等への委託及び児童養護施設の入所児童数

- ・里親・ファミリーホームへ委託している児童数と委託率及び児童福祉施設に入所している児童の学位別内訳。
- ・里親等への委託児童数及び委託率は、年によって増減はあるが、100人程度の委託をしている。
- ・児童養護施設へ入所する児童数は年々減少しているが、措置される児童の内訳は大きな変動はない。

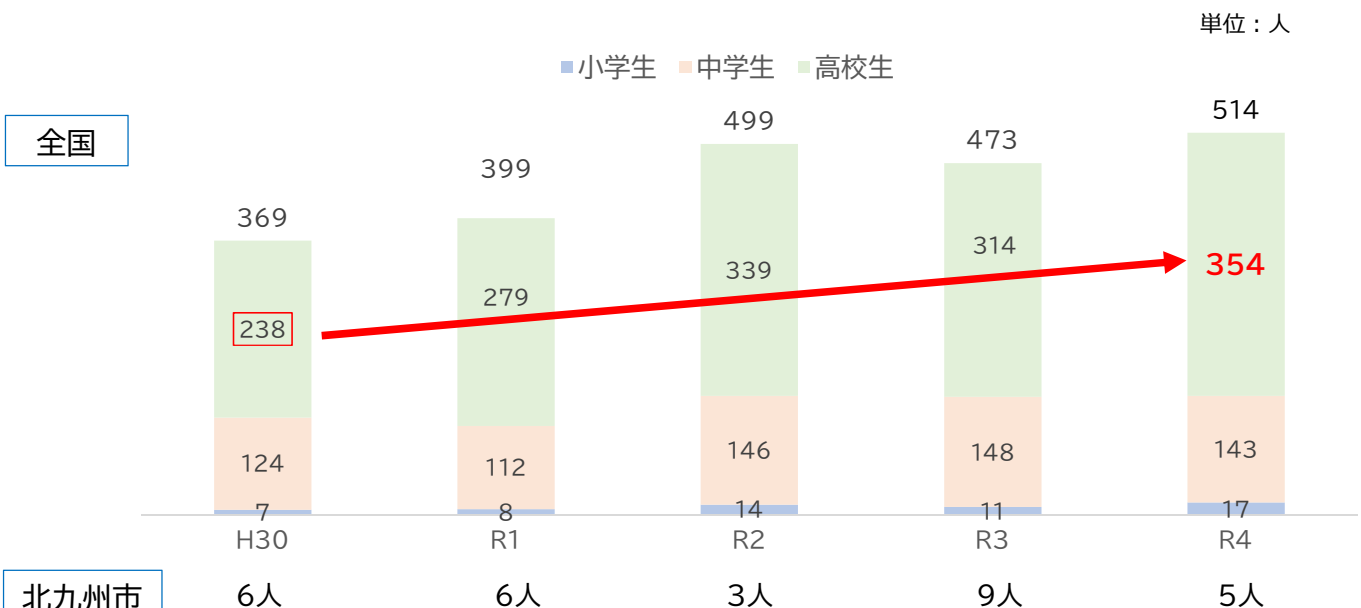


出典:子ども家庭局実績

子ども総合センター「事業概要」 19

子どもの自殺者数

- ・全国の子どもの自殺者数は、増加傾向である。特に高校生は大きく増加している。(H30→R4:48.7%増)
- ・北九州市の20歳未満の自殺者数は、一桁で推移している。



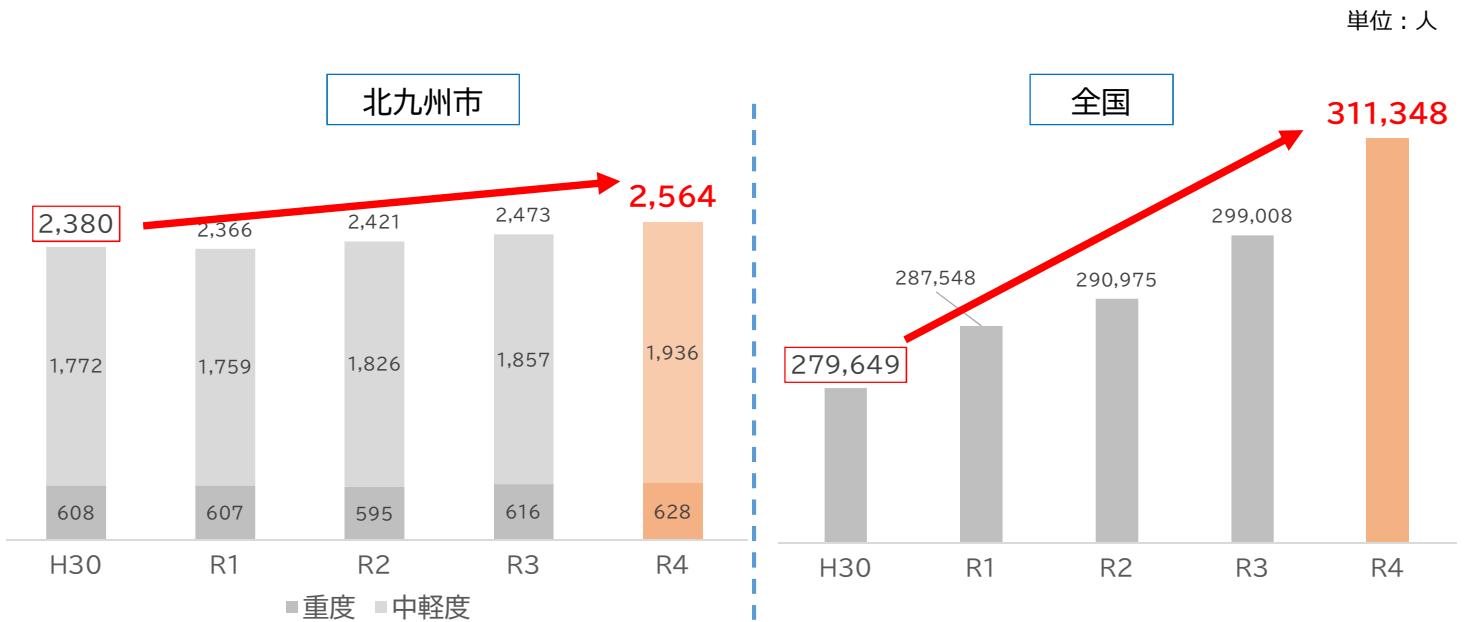
※内訳非公開

※北九州市は20歳未満の数

出典:厚生労働省「自殺の状況」「地域における自殺の基礎資料」

療育手帳所持者の状況

- ・療育手帳を所持する18歳未満の人数。北九州市は重度、中軽度の内訳を記載。全国は全体数のみ。
- ・北九州市は、概ね増加傾向。(H30→R4:7.7%増)
全国的にも、年々増加している。(H30→R4:11.3%増)



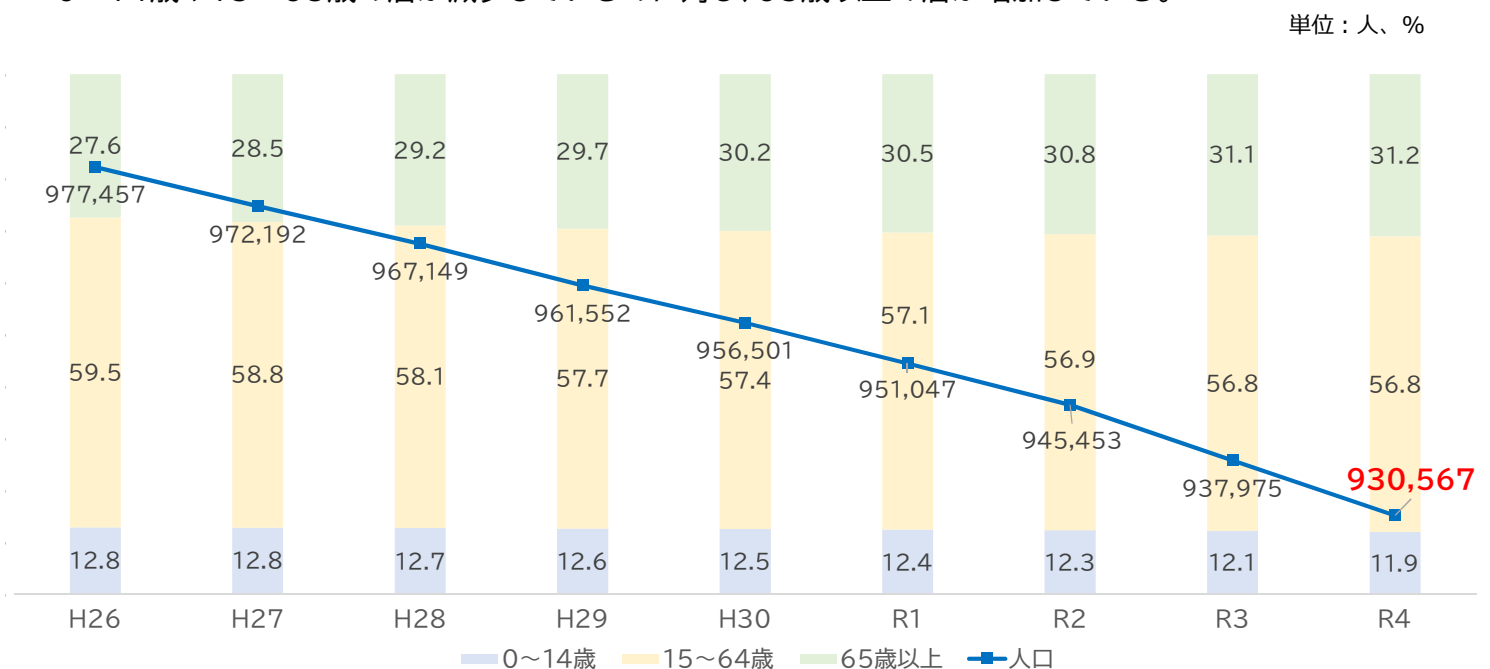
出典：保健福祉局実績

厚生労働省「福祉行政報告例」

21

人口と年齢割合

- ・北九州市の人口は年々減少傾向。
- ・0～14歳や15～65歳の層が減少しているのに対し、65歳以上の層が増加している。



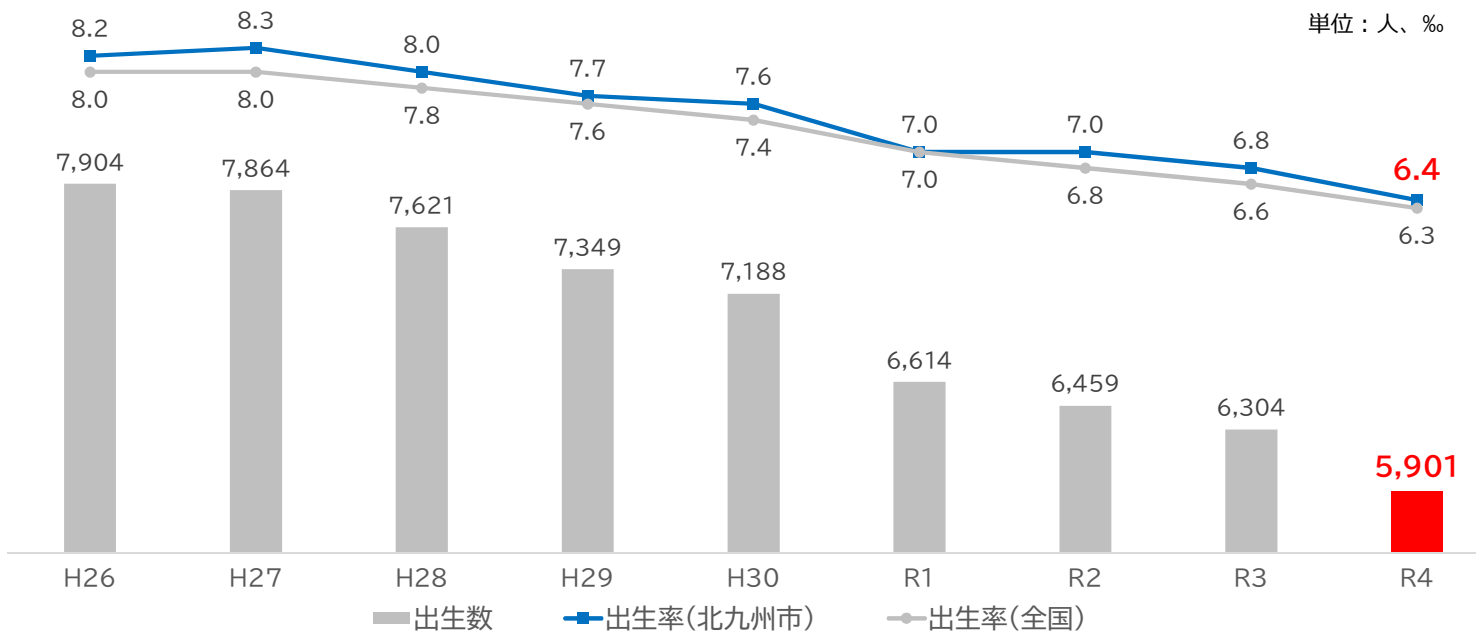
出典：北九州市住民基本台帳

基準日：各年9月末時点

22

出生数と出生率

- ・出生数は年々減少傾向。
- ・出生率(対千人あたりの人数)で計算すると、概ね全国と同じ傾向で減少。

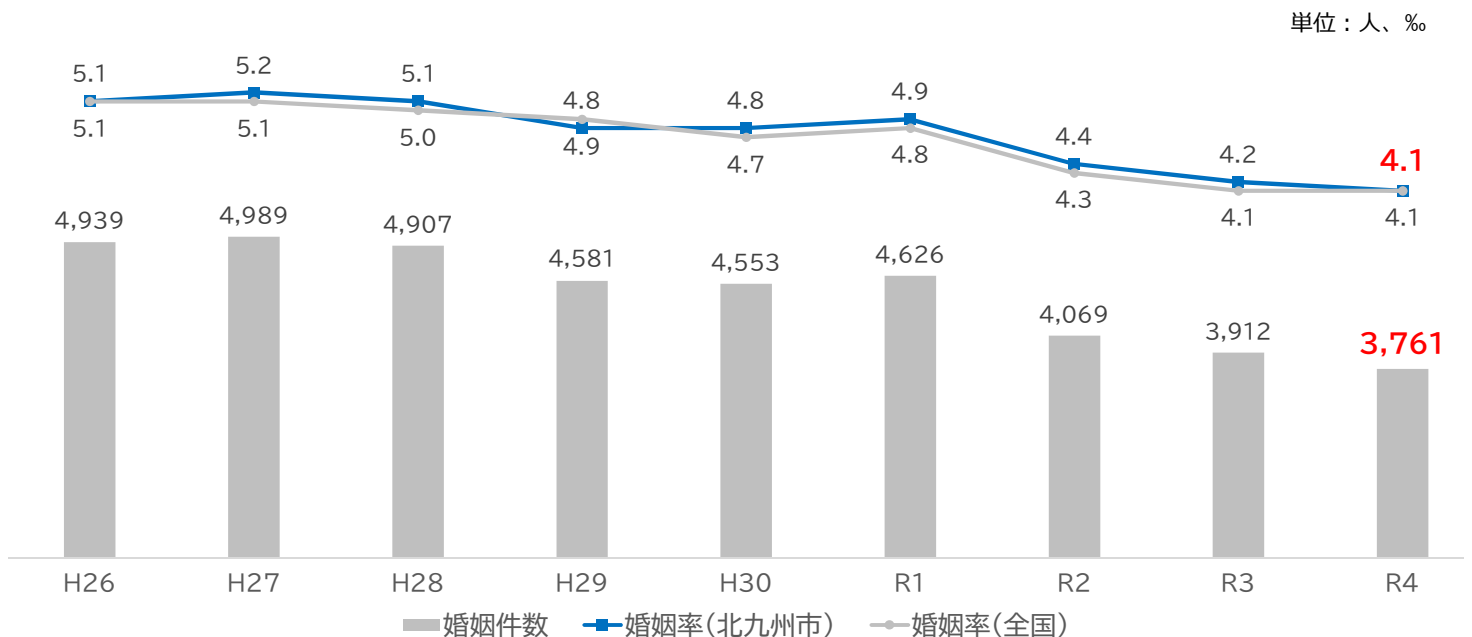


出典：厚生労働省「人口動態調査」

23

婚姻数と婚姻率

- ・婚姻数は近年減少傾向。
- ・婚姻率(対千人あたりの人数)で計算すると、概ね全国と同じ傾向で減少。



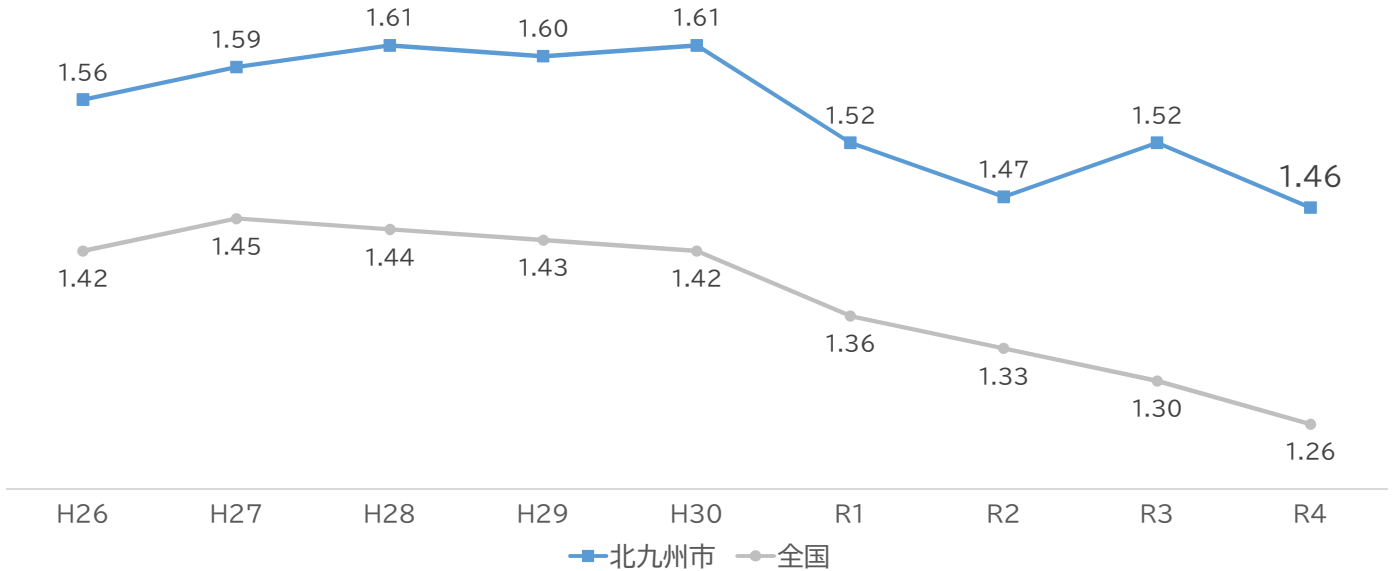
出典：厚生労働省「人口動態調査」

24

合計特殊出生率

- ・合計特殊出生率(女性が一生のうちに生むとされる子どもの数)は、北九州市は全国平均よりも高い傾向。
- ・全国的には減少傾向であり、北九州市もH30をピークに減少している。

単位：％



出典：厚生労働省「人口動態調査」

25

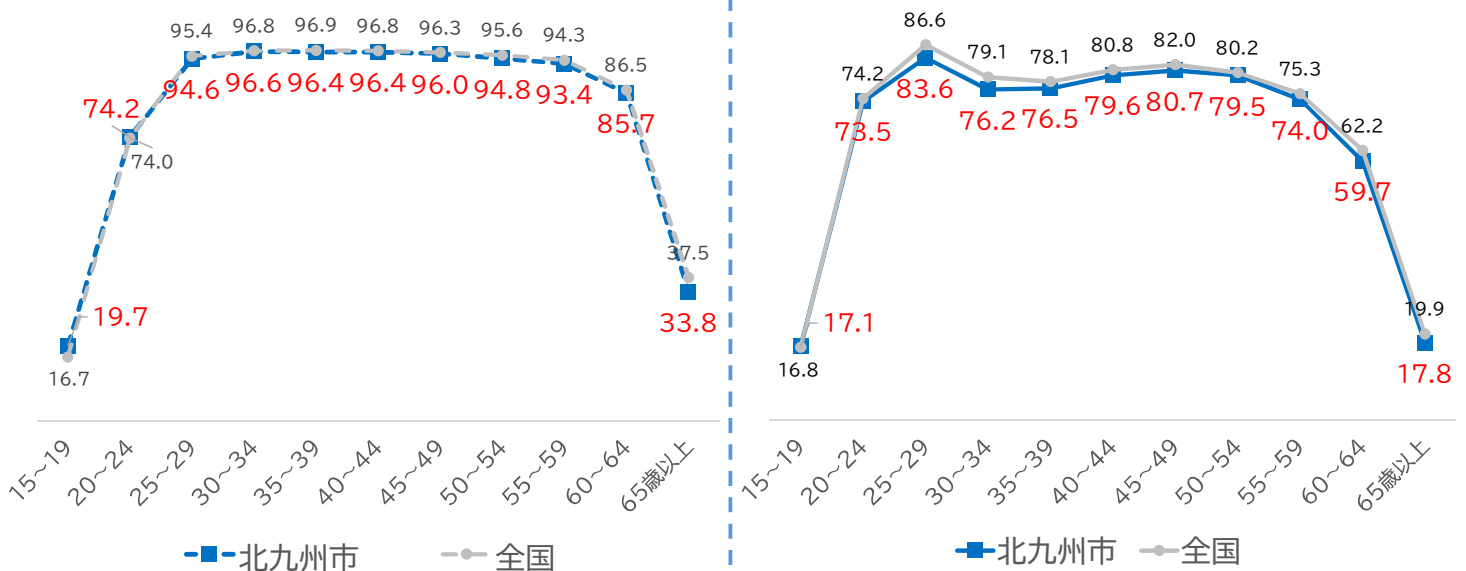
年齢階級別労働力率

- ・15歳以上の人口に占める労働人口の割合。(労働力率(%) = 労働人口 / 年齢別人口 × 100)
- ・北九州市は、男性・女性ともに、20歳以上については、全国平均を下回っている。

男性

女性

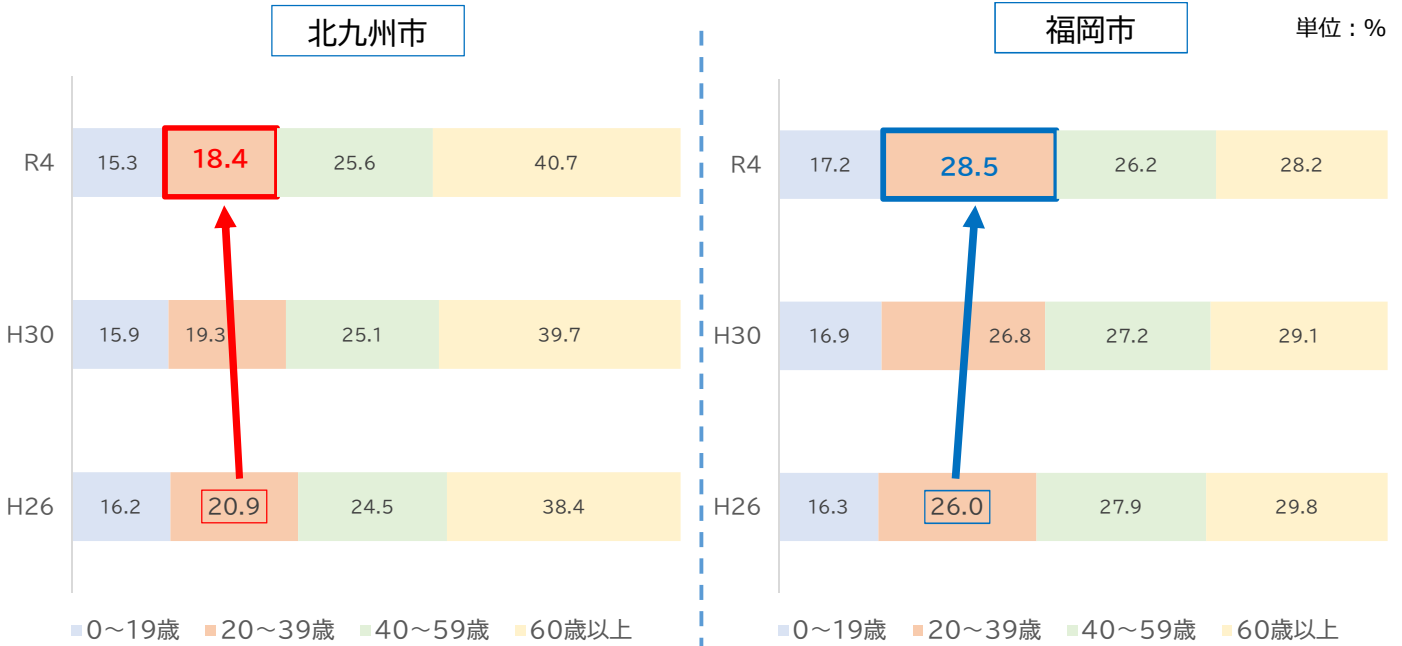
単位：％



出典：総務省「令和2年国勢調査」 26

女性の年代別人口構成比

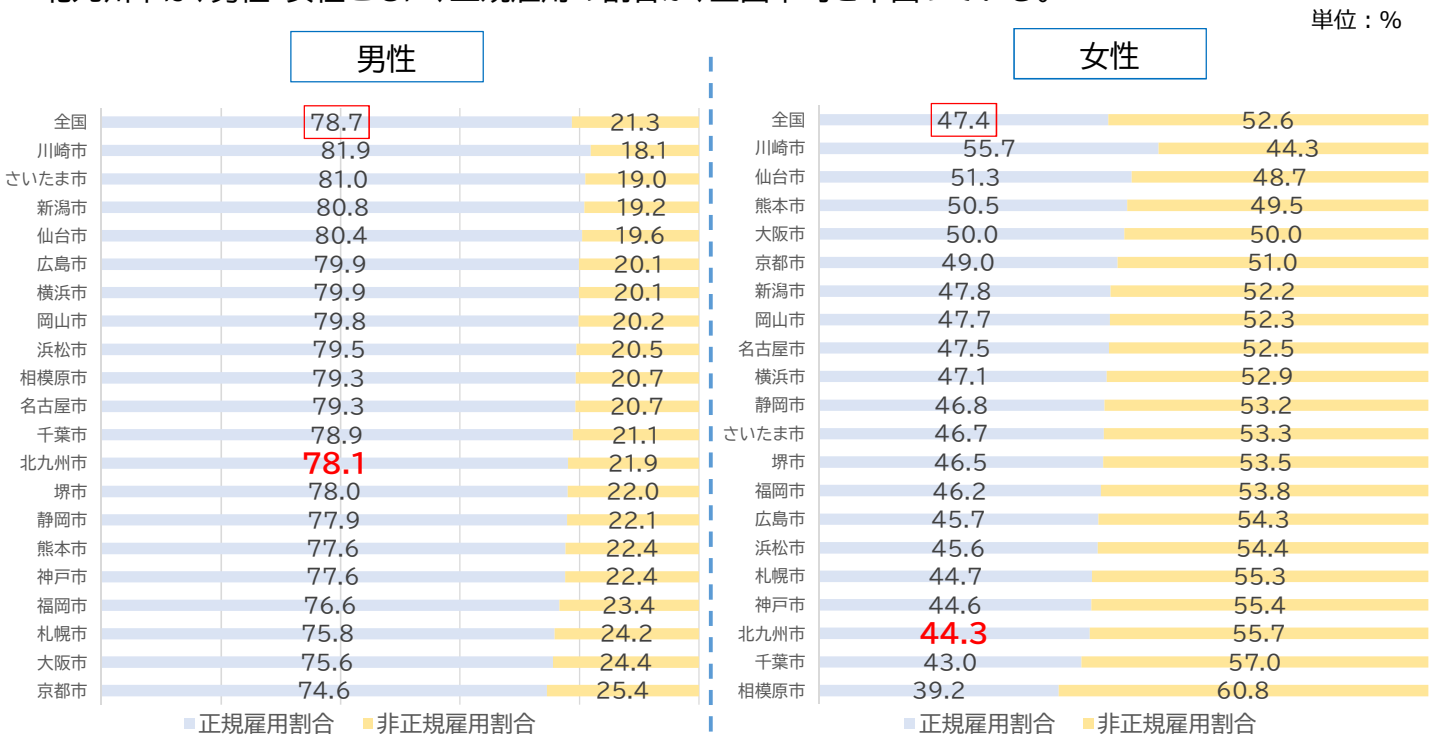
- ・女性の各年代の人口構成比を、北九州市と福岡市で比較する。
- ・北九州市は、20～39歳の層が減少している。



出典：北九州市、福岡市住民基本台帳
基準日：各年9月末時点

北九州市の就業者の状況

- ・全国及び20政令市の男性・女性別の正規雇用・非正規雇用の割合(20歳以上)を算出。
- ・北九州市は、男性・女性ともに、正規雇用の割合が、全国平均を下回っている。



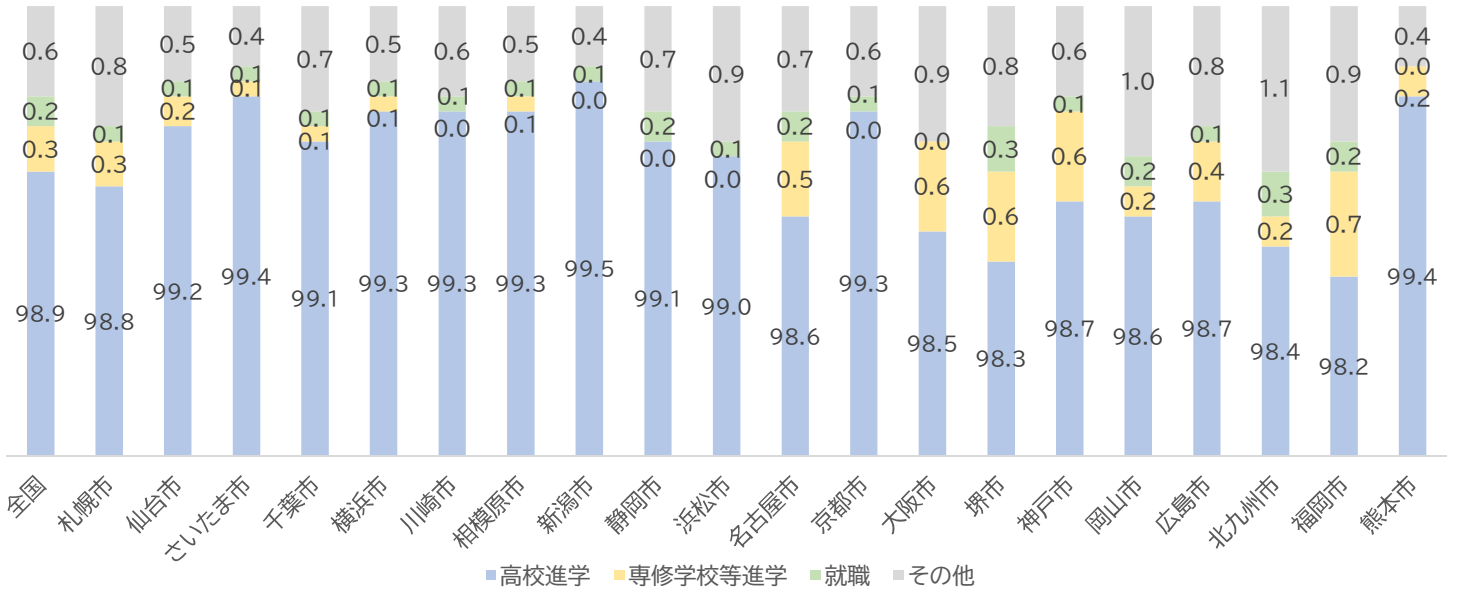
出典：総務省「令和4年就業構造基本調査」

中学校卒業後の進路状況

・中学校卒業者の進路状況についての調査。

・北九州市は、全国平均と比べ、高校進学割合がやや低い。
 その他(進学も就職もしていない等)の割合が高い。(政令市1位)

単位：%



※見やすくするため縮尺を変更しています

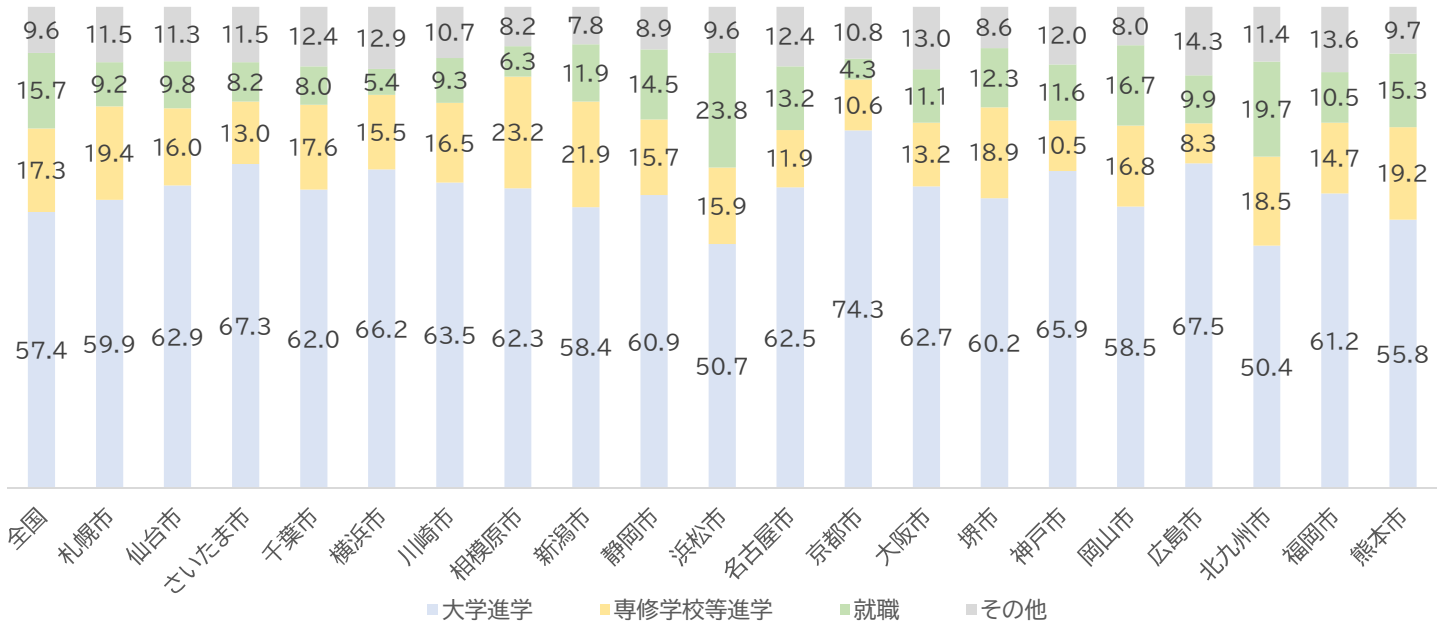
出典：文部科学省「学校基本調査」、大都市比較統計年表
 基準日：令和3年3月卒業者

高等学校卒業後の進路状況

・高等学校卒業者の進路状況についての調査。

・北九州市は、全国平均に比べ、大学へ進学する割合が低く(政令市20位)、就職する割合が高い(政令市2位)。

単位：%



出典：文部科学省「学校基本調査」、大都市比較統計年表
 基準日：令和3年3月卒業者